

商業施設で認知症カフェ

栃木・イベントスペース内

2カ月に1回開催、啓発も



登録証交付式で記念撮影する関係者ら

ることなどから、今回の開催に至った。

カフェの運営は通所介護施設運営の「雅堂」（箱森町）が担い、同課職員らが周知活動などをサポートする。25日は福祉関係者や地域住民ら約40人が集まり、会話を楽しんだり認知症予防体操に取り組んだりしたほか、医師による認知症の解説も行われた。

同課によるカフェの登録証交付式に出席した同社の古田土広樹社長（41）は「誰が来てもゆったり楽しめる場所にしたい」と述べた。イオン栃木店の担当者は「スペースを有効活用し、認知症ケアの助けになれば」と話している。

（橋本裕太）

【栃木】市内の商業施設では初めてとなる認知症カフェ「えぼっくカフェ」が25日、箱森町のイオン栃木店イベントスペースで開かれた。今後カフェは奇数月に1回開催する予定で、次回は3月28日に開かれる。

市地域包括ケア推進課によると、認知症の人や家族

らが気軽に集える認知症カフェは市内に13カ所あり、福祉施設内で開かれることが多い。商業施設の協力で実施するのは初めてで、市が毎年9月の認知症月間で啓発活動を同店で行ってい

イチゴで被災者を元気に